

電動工具などの藤原商会

中四国最大級の専門店「藤箱」開店

プロ職人向け、体験型で差別化へ

電動工具など販売の藤原商会（西区商工センター4-17-21、藤原肇史社長）は3月8日、現場で作業するプロ職人向けで中西国最大級の電動工具専門店「藤箱」を同所に開く。体験型のセレクトショップをコンセプトに、専門知識を有したスタッフが接客し、大手ホームセンターとの差別化を図る。店舗面積約350平方メートルに8万点を展示。建築建設エリアは黒を基調にした無骨でクールな印象に、農林造園



つなげるココロ、つなげるミライ。 相信用 広島商銀

エリアはウッドデッキを採り入れ、アウトドア感のあるカジュアルな雰囲気とした。複数のケースを自在に連結させられるミルウォーキー（米国）のバックアウトを全種類そろえるほか、スチール（独）、ハスクバーナー（スウェーデン）のチェーンソー、マキタの園芸工具などを多数用意。デモ機を豊富にそろえるほか、メーカー担当者を招いたイベントなどを計画し、実際に使い比べてもらう。店舗での取り扱いが珍しい新割り機やロボット芝刈り機なども置く。修理室を設け、一般客にも対応する。2024年に先行オープンした別棟（西館）では園芸用品、打刃物、薪ストーブを扱う。ガーデングッズ専門の「ロイヤルガーデナースクラブ」や、

職人の手作り和包丁・はさみなどを紹介する。

サウナの体験型ショールーム（ハルビア広島西）も併設し、工務店やハウスメーカー、商業施設などに訴求する。2月27日にはハルビアジャパンの笠間聖司社長、サポトズデザインオフィスの谷尻誠社長、建築設計デザイン事務所スイッチの谷川智明代表のトークセッションを開催。3月8、9日にはお笑い芸人のオヤカタくんを招き、藤箱のオープンイベントを実施する。

写真館のスタジオアイ イオンタウン楽々園に新業態

写真館のスタジオアイ（呉市朝日町、相川真太郎社長）は昨年12月開業のイオンタウン楽々園（佐伯区）に、新業態で貸し切り型の写真館「フォセット プレミア」を開いた。

豊富な衣装をそろえ、ポップな雰囲気の写真が強みの既存業態「フォセット」のコンセプトを踏襲しつつ、他の客がいない状況でリラックスして撮影に臨んでもらう。210平方メートル、土間や丸窓のある和風、白やシルバーを基調に、衣装の色が映えるシャビリーなど4スタジオを設ける。壁面に照明を備え付け、スタジオ内どこで撮っても明るく仕上がるようにした。料金は衣装の高数などで異なり、生後半年のハイハイステータが1万6500円、1歳誕生日が3万8500円ほか（貸し衣装、写真データ、A4プリント付き）。写真パネルや、写真をプリントしたクッション、アクリルスタンドなども用意。1歳、七五三など定期的に撮影するバックプランを設け、リピート利用を促す。月50〜60組の来店を目指している。

田中組など地域貢献型 広島銀行 広銀が私募債引き受けは、総合建設業の田中組（尾道市瀬戸田町富原、田中勝社

倒産 玉屋 株式会社 261-4949

長）が2024年8月26日に発行した第1回無担保社債1億円（地域まちづくり貢献型、期間5年）を引き受けた。

12月19日に田中社長と広島銀行の土井山田因島支店長が原立瀬戸田高校（瀬戸口徹校長）を訪れ、20万円を寄付した。1959年創業で自然エネルギーなどの発電事業、建設材料や石油製品の製造販売も手掛ける。

ビルメンテナンス・メテイカルサービス業のヒューマックス（南区東本浦町、澤田英治社長）が10月24日に発行した第8回無担保社債1億円（同型、期間5年）も受託。（社徳）恩賜財団済生会広島病院（坂町）に内視鏡センター設立クラウドファンディングで20万円を寄付した。システム開発・サポート、交通管理・料金収受業務なども行っている。両社は調達金を運転資金に充てる。

フラップリソース私募債 もみじ銀行は、産業廃棄物中間処理業のフラップリソース（安佐北区大林町、中川明雄社長）が2024年11月26日に発行した第1回無担保社債5000万円（寄付型、期間5年）を引き受けた。

1月17日、学校法人広島豊新庄学園にファイバースコープカメラ、アクションカメラ、付属品の計9万1000円相当を寄贈した。

主にグループ会社の山陽レックと連携し、リチウムイオン電池のリサイクル事業を行う。今後のEV普及などに伴う廃棄量増加に対応しようと、23年4月に北広島町に工場を新設。今回の私募債もリチウムイオン電池の再資源化設備の増設に利用する予定。循環型社会実現に貢献したいという。